

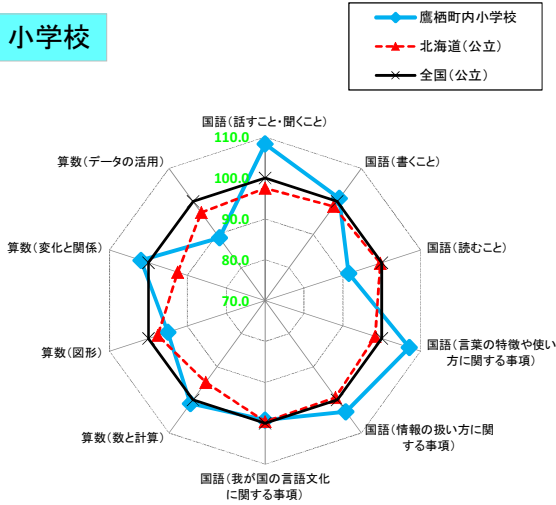
■鷹栖町内の状況及び学力向上策（小学校数：2校、児童数：50人）（中学校数：1校、生徒数：48人）

【教科全体の状況】

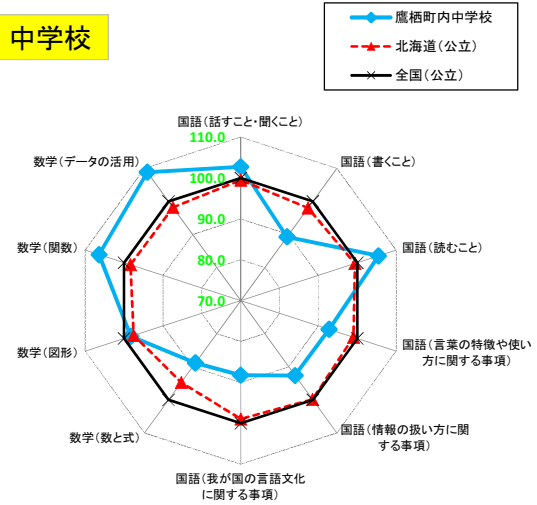
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	69	56
算数・数学	62	53

小学校

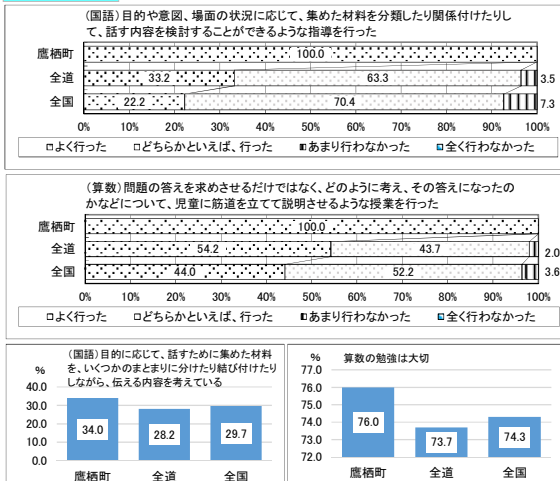


中学校

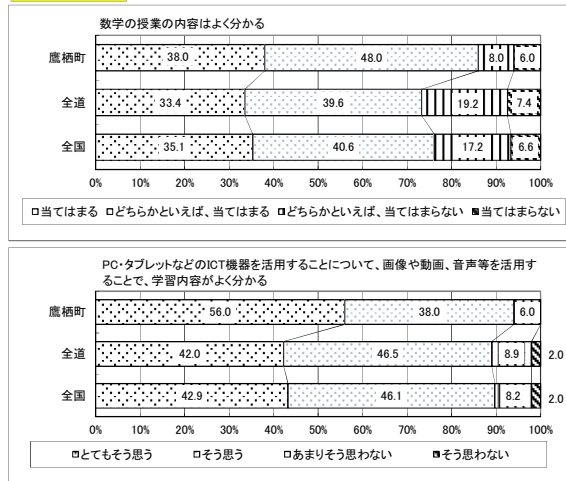


【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

国語の授業において、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行ったことにより、国語の授業で目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回るとともに、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域と「言葉の特徴や使い方にに関する事項」「情報の扱い方にに関する事項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

算数の授業において、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に道筋を立てて説明させるような授業を計画的に行ったことにより、算数の勉強は大切だと思っていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、算数の「数と計算」「変化と関係」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

指導方法工夫改善加配による習熟度別指導の充実を図ったことにより、数学の授業の内容はよく分かると思った生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、数学の「データの活用」「関数」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

1人1台端末の活用に向けた研修の実施及び学習支援ソフトや電子黒板等を活用した学習活動の推進を図ったことにより、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かると思った生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【鷹栖町の学力向上策】

- ◎ 学習指導要領の趣旨を踏まえた計画的な教職員研修の実施
- ◎ 放課後や休日等における学習機会の提供や習熟度別指導の充実
- ◎ 英語教育の充実を図る小・中学校の連携(専科教員及びALTの活用)
- ◎ 1人1台端末の活用に向けた研修の実施及び学習支援ソフトや電子黒板等を効果的に活用した学習活動の推進

【Webページ】

